

総合的な学習の時間活動プラン

中原小学校 4年2組

男子14名 女子14名 計28名

指導者 伊良部 美香

1. 活動名「大好きうちなあ」

2. 活動のねらい

- (1) 沖縄の歴史・文化を学ぶことにより、沖縄の良さや豊かさに気づき、大切にしていこうとする心を育てる。
- (2) 自ら課題を設定し、課題を解決していく過程で情報の集め方、調べ方、まとめかたや、発表の仕方などを身に付けさせる。
- (3) 戦争や平和、命について考える学習を通して、平和を愛する心をもつことができる。
- (4) よりよい沖縄をめざし、自分たちの生活の中で何ができるか考えることができる。

3. 育てたい資質や能力

- (1) 自ら課題を見つける力(解決設定の能力)
- (2) 自ら考える力(問題解決の能力)
- (3) 共に生きる心(人と関わる力)

4. 活動について

(1) 教材観

沖縄には、たくさんの豊かさがある。独自の自然や食べ物、城などの文化財や遺跡、綱引きやハーリーなどの行事、歌や踊りや三線や空手などの伝統芸能、焼き物や紅型や琉球ガラスなどの伝統工芸、平和やユイマールを大事にする心などである。これらの沖縄の良さや豊かさに誇りを持ち、さらに琉球王朝時代のように世界へその豊かさを発信する積極性をもってほしいとねがいこの単元を設定した。

社会科の学習で文化財や遺跡、名所などにも目を向ける。そこで、うるま市を出発点として、足元から沖縄全体へ視野を広げていく流れにしたい。

(2) 児童観

4年生の発達段階から友達と協調しあいながら、学習を進めることはまだ不十分である。自己主張が強すぎたり、逆に自分の考えがなくグループ学習がスムーズにいかない面もみられる。そこで、いろいろ取材し、グループで協力して活動していく中で自主性や協力性、問題解決能力も育っていくことをねらう。

沖縄の文化・芸能に関しては取り組みやすいが、社会情勢や歴史を十分に理解するのは困難であるため、体験学習を取り入れながら、活動を進めていきたい。

(3) 指導観

慰霊の日を前に「沖縄戦」について学習することで、戦争の悲惨さや平和の尊
さを実感させることができ、平和を求める心を育てることができる。ま
た、先人が苦難の中にありながら、豊かで美しくたくましい文化を創りあげてき
たことを理解させたい。この学習を通して、身近な問題にも目を向け、それを解
決するため自主的に取り組み、自分なりに発信してこうとする態度を育てたいと
考える。

5. 指導計画

過 程	学習活動	評価規準・各教科等との関連
--------	------	---------------

<p>ふ れ る ・ つ か む 見 通 す 追 求 す る</p>	<p>○オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 沖縄に関するビデオ（紅型・城等）を視聴し、学年テーマ「大好きうちなあ」への意識を高める。 <p>○総合的な学習の時間の進め方について学習する。</p> <p>○ウェビングにより課題を決める。</p> <p>○グループを決める。</p> <p>○各グループの全体計画の作成</p> <p>○「沖縄戦」について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> （１）児童実態調査（アンケート法） （２）読み聞かせ（沖縄戦の関する本） （３）ビデオ視聴（対馬丸） （４）講演会（命について） （５）施設見学（沖縄平和祈念資料館等） <p>○伝統芸能「獅子舞」について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> （１）ビデオ視聴（地域の獅子舞） （２）講演会（獅子舞の由来等） （３）獅子作り <p>○各グループの計画に沿って活動する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館・調べ学習室・インターネット・地域の方々への聞き取り等 <p>○グループで協力して調べ学習をする。</p> <p>○社会見学（琉球村等で調べ学習）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あらかじめ調べたいことなどを考える。 	<p>[課題設定の能力][追求力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 視聴覚の視聴を通して、学年テーマへの意識を高めることができる。 ・ 図工「紅型作成」により、豊かな文化を体験する。 <p>[課題設定の能力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学年テーマに沿って自ら課題を見つけることができる。 ・ グループで協力して、全体計画・毎時間の指導計画を作ることができる。 <p>[学び続ける力][追求力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 戦争の悲惨さや平和の尊さを実感することができる。 ・ 道徳：生命尊重 <ul style="list-style-type: none"> ・ 運動会で獅子舞を発表することにより、地域の伝統芸能を体験する。 ・ 自分たちで計画に沿った学習ほうほうを用いて、目的にあった情報を選択したり、集めたりすることができる。 ・ 主体的になって調べ学習をすることができる。 ・ 課題意識を持って、活動に取り組むことができる。 ・ 社会：「昔の暮らしとまちづくり」「私たちの県とまちづくり」
--	---	---

<p>まとめ</p> <p>発表する</p> <p>発表する・広げる</p>	<p>○調べたことを整理する。</p> <p>○各グループで調べたことをまとめる。</p> <p>○発表の準備をする。</p> <p>○発表会を持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き手に分かりやすい発表ができるように心がける。 ・他のグループの発表を聞いて、感心したことや学んだことを記録する。 ・友達のよさを認め、良いところを見つける。 <p>○学習発表会に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすく発表する方法を考える。 <p>○学習発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き手に分かりやすい発表ができるように心がける。 ・伝統芸能「エイサー」「三線」 ・友達のよさを認め、良いところを見つける。 	<p>[学び続ける力・表現力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決方法や調べた結果を工夫してまとめることができる。 ・どのようにしたら分かりやすい発表ができるか考え、準備に取り組むことができる。 <p>[主体性・創造性・共に生きる力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめたことを分かりやすく発表することができる。 ・自分や友達の発表の良い点、工夫した点等を認めることができる。 <p>[自己の生き方][共に生きる力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの自分の将来や沖縄のあり方について自分なりに考えることができる。
--	---	--

6・本時の活動

(1) 本時のめあて

- ・平和祈念資料館の見学を通して、沖縄戦についてより詳しく学習し、平和について考えることができる。

(2) 授業仮説

- ・平和祈念資料館での体験者の証言や資料等によって調べ、事実を知り、戦争の悲惨さを実感することにより、平和を愛する心や共に生きる心が育つであろう。

(3) 本時の展開

	学習活動	教師の支援
<p>導入 十五分</p> <p>展開 二時</p>	<p>1・オリエンテーション マナー・時間の確認</p> <p>2. めあての確認</p> <p>3. 資料館の見学(調べ学習)</p> <p>2F 歴史を体験するゾーン</p> <p>○第一展示室「沖縄戦への道」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満州事変から沖縄戦に入るまでの経緯を調べる。 <p>○第二展示室「鉄の暴風」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空襲や艦砲射撃は、およそ3ヶ月に及び、多くの死者を出したことを調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のめあてと流れを確認する。 ・平和祈念資料館のワークブックを活用し、わかったことや、感じたことを書くことができるようにする。 ・難しい用語について説明する。

<p>まとめ 十五分</p>	<p>○第三展示室「地獄の戦場」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 軍民入り乱れた悲惨な戦場の様子を調べる。 <p>○第四展示室「証言」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 戦争を体験した住民による証言を読む。 <p>○第五展示室「太平洋の要石」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 沖縄の教訓は、「平和の要石」を通して世界へ発信されることを知る。 <p>1F 未来を展望するゾーン</p> <p>○子ども・プロセス展示室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ さまざまな国の子どもたちの様子を調べる。 ・ 世界的な問題・身近な問題を 取り上げ、その原因、どうしたら解決できるか考 える。 <p>○感想を書き、次時の課題設定へとつなげる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体験者の証言により、事実を知り、戦争の悲惨さを実感することができるようにする。 ・ 過去の出来事がより身近なものとなり、平和について考えるきっかけをつくるようにする。 ・ こらからの自分の将来や沖縄のあり方について考えることができるようにする。 ・ 平和について自分たちにできることは何か考えることができるようにする。
--------------------	--	--

7. 評価

- ・ 平和祈念資料館の見学を通して、沖縄戦についてより詳しく学習し、平和について考えることができたか。